

活動概要

保育園・高齢者施設での 読み聞かせボランティア

近隣の保育園3ヶ所と市内の高齢者施設2ヶ所を訪問し、パネルシアターや紙芝居の上演、絵本の読み聞かせ、手遊び歌、交流会などを行っています。



活動の目的・志など

物語の力と 異世代交流で 笑顔に♡



最近、共働き家庭が増えているせいか、家でなかなかゆっくり絵本を読んでもらえていない子どもたちが少なくないようです。そんな子どもたちに少しでも多くの絵本やお話に出会ってもらいたいと思いながら活動しています。

高齢者の方々からは、名作大型絵本を読んだ時に、「タイトルは知っていたけれど内容はよく知らなかった。とても良い話だと知れて嬉しい」と言っていました。これからもそんな機会を提供していきたいと思えます。

また、保育園の先生方からは、「高校生のお兄さんお姉さんが来てくれると、子どもたちに良い刺激になる」「(訪問日は)子どもたちが朝から楽しみにしている」と言っていたことがあります。高齢者施設の職員の方からは、「若い人が来てくれると利用者さんが元気になる」とも言われました。私たちにとても、普段あまり接する機会のない年齢の方々とは、よい刺激になり、勉強にもなります。

物語と一緒に味わいながら交流することで、みんなが笑顔になれたらいいと思います。

活動団体プロフィール

平成28年秋の公開文化祭において、図書委員会が古本市とあわせてお話し会を行ったことが活動の始まり。そこで練習したことを外部でのボランティア活動につなげようと思ったきっかけ、保育園2ヶ所からスタートした。

その後図書委員以外の有志のメンバーも加わり、現在は、昼間主・夜間主コースの1～3年次生11名で活動中。訪問先も徐々に増えて現在は5ヶ所。練習や準備は毎週月・水・金の夕方に図書館で行っている。

コース毎に授業の時間帯が異なっていたり、アルバイトや部活や生徒会を掛け持ちしたりしているメンバーも少なくないため、全員一緒に練習できる時間は短いですが、協力し調整し合って活動している。

保育園・高齢者施設 訪問回数

平成28年度	5回
平成29年度	28回
平成30年度	35回
令和元年度	30回
令和2年度	16回



図書館で練習

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

読み聞かせ会でふれあいを

近隣の保育園3ヶ所に毎月それぞれ1～2回訪問し、読み聞かせ会を開いています。また、夏休みなどの長期休業中は高齢者施設2ヶ所にも訪問しています。

保育園では、パネルシアターや紙芝居の上演、大型を含む絵本の読み聞かせ、手遊び、季節の歌を歌う、などの活動を行っています。あわせて、折り紙やペーパークラフトやバルーンアートなどで作品を作って持って行き、プレゼントすることもあります。



ボランティアメンバーの声

読み終わった後の
子供達の楽しかったの一言で元気付けられとても楽しく活動しています！



読み聞かせをして子供たちが喜んでるところを見ると、穏やかな気持ちになります。まるで、晴天の中で輝きを受け取る草原のようです。



子どもたちが楽しんで聞いてくれると嬉しくてまた頑張って練習しようと思います。



子ども達が楽しく見れるように考えたり工夫したりするのにやりがいを感じられた。



その他の活動

平成29年度 図書館や公開文化祭の古本市の場に「絵本のポスト」を設置し、家庭で不要になった絵本の寄付を呼び掛けた。集まった絵本を、韓国の孤児院「共生園」へ、メッセージカードを添えて寄贈した。(後日、御礼として韓国語の絵本が送られてきたので、いつか翻訳して読み聞かせの際に使ってみたい)



平成30年度 福島県郡山市の高齢者大学「あさかの学園大学」に依頼され、大学主催の「いきいきふれあいの集い」(於:市民文化センター)にて、メンバーの2名が、集い全体の司会を務めた。また、代表者1名が読み聞かせ活動をもとにした提言発表を行った。



感染症予防の取り組み

保育園に行く前には必ず検温をする事、なるべく少人数で行く事など、様々な予防に取り組んでいます。下の写真のように、子供達とソーシャルディスタンスを十分に保って活動を行っています。演目も距離があっても楽しめる、パネルシアターや大型絵本、紙芝居を上演しています。



受賞歴

平成29年度	ボランティア・スピリット賞 コミュニティ賞
平成30年度	ボランティア・スピリット賞 コミュニティ賞
平成30年度	郡山市市民活動推進顕彰事業 まちづくりハーモニー賞 青少年部門
令和元年度	高校生ボランティアアワード 2019
令和2年度	高校生ボランティアアワード 2020

今後の展望・夢など

Happiness～夢と元気を届けよう～

本や物語の力で子ども達に夢を、高齢者の方々に元気を届けることを目標に、読み聞かせの技術を磨きながら、今後も活動を続けていきたいと思えます。

